

講師

藤王千春

講演タイトル

現場で磨く、私のキャリア

～“働き方”から見える歯科技工士の可能性～

職歴

- 1986 年 北海道歯科技術専門学校 卒業
- 1986 年 帯広市内の歯科医院 勤務
- 2010 年 同院にてフリーランス歯科技工士として従事
- 2020 年 医療法人社団いのうえ歯科医院 勤務

歯科技工士会 経歴

- 2004 年～2008 年 社団法人 北海道歯科技工士会 理事
- 2016 年 日本歯科技工士会 女性活躍推進委員会 委員
- 2019 年 日本歯科技工士会 若年雇用定着及び女性活躍推進プロジェクト委員会 委員
- 2019 年～ 公益社団法人 北海道歯科技工士会 常務理事（現職）
- 2022 年 日本歯科技工士会 歯科技工士労務対策委員会 委員
- 2024 年～ 公益社団法人 日本歯科技工士会 理事（歯科技工士労務対策・広報・調査研究 各委員会担当）

抄録

私は一貫して院内技工士としてキャリアを重ねてきました。勤務からスタートし、その後は同じ歯科医院でフリーランスという形で院内の技工環境を活用しながら業務に従事。現在は別の歯科医院に勤務しながら、患者対応やスタッフ育成など、多職種と連携する“二刀流”の働き方を実践しています。

また、北海道歯科技工士会では理事・常務理事（現職）を務め、日本歯科技工士会では女性活躍推進や労務対策などの委員を歴任し、2024 年からは理事（現職／労務対策・広報・調査研究 各委員会担当）として活動しています。本講演では、自らのキャリアの歩みを通して、院内技工士ならではの魅力や可能性、そして技工士会活動を通じて得られた“つながり”の力をお伝えします。皆さんが“自分らしい働き方”を描くヒントになれば幸いです。

多様性の現代における歯科技工士の可能性と原点回帰
～歯科医療の魅力を再確認する～

藤田良磨

多様性が重視される現代、インターネット進化により、誰もが国境や文化の垣根を越えて繋がれる時代になりました。さまざまな環境のもと、自ら情報を発信し、他者から評価を受けることで、自分の存在意義を実感しやすくなりました。

一方で、情報が一人歩きし、表面的な評価に留まり、本来の存在価値や魅力にたどり着けないケースも少なくありません。

日本国内においては、人口減少、超高齢化社会、医療費の増加、医療従事者不足、デジタル化、グローバル化など課題が山積しており、歯科医療もその影響を受けています。しかし、この状況だからこそ、私たち歯科医療従事者の存在意義が改めて問われているのではないのでしょうか。歯科技工士という職種もまた、そうした社会背景のなかで新たな可能性を見出せるはずです。

本発表では、歯科技工士の職域や多種多様な歯科技工操作と、これから求められる役割について考察します。

また、国民の健康維持という歯科医療の原点に立ち返りつつ、歯科技工業界における多様性を生かした人との繋がりや活動、そして魅力を再考し、世界に誇れる日本の歯科技工士の可能性についても触れさせていただきます。